

糸魚川市は、子ども一貫教育を進めています！



糸魚川市は、**ひとみかがやく日本一の子ども**を育てるため、平成21年度に「0歳から18歳までの子ども一貫教育方針」を策定しました。それは、次の二つが大切だと考えたからです。

- 成長の時期に応じ、連続性を重視した教育
- 家庭、地域、園・学校がそれぞれの役割を果たした交流・連携

市民総ぐるみで子どもを育てましょう

表紙のグランドデザインを見ると、「家庭」・「地域」・「園・学校」から子どもが乗っている気球に「愛着形成」「自己肯定感の育成」「自立支援」といった温かな「風」を送っています。市民総ぐるみで子どもたちを育てていくことを表しています。



平成22年度から平成26年度まで、糸魚川市子ども一貫教育を進めてきた主な成果と課題は次のとおりです。

成 果

- 幼稚園・保育園、小学校、中学校の連携が着実に進んでいる。
中学校区の幼稚園や保育園、小学校・中学校が連携し、知・徳・体のバランスのとれた子どもたちを育てる活動に取り組んでいる。
- 早寝・早起き・おいしい朝ごはん運動が定着してきている。
「朝食を毎日食べている」割合が、小学生・中学生共に全国平均よりも高く、品数の多い朝ごはんとなっている。
- 学校生活を楽しく送っている子どもが多い。
「学校に行くのが楽しい」割合が、小学生・中学生共に全国平均よりも高い。
- 地域の行事に参加する子どもの割合が全国平均よりも高い。

課 題

- 基礎学力の定着を目指して、学校、家庭がさらに連携する必要がある。
- いじめ・不登校の対策に一層力を注ぐ必要がある。
- 子ども一貫教育について市民への説明が十分とは言えない。



糸魚川で育ち、学んだ子どもたちが自信をもって「糸魚川大好き！**わ・が・い・と・い・が・わ**」と言えるように、家庭・地域・園・学校で力を合わせて、子ども一貫教育を進めましょう！